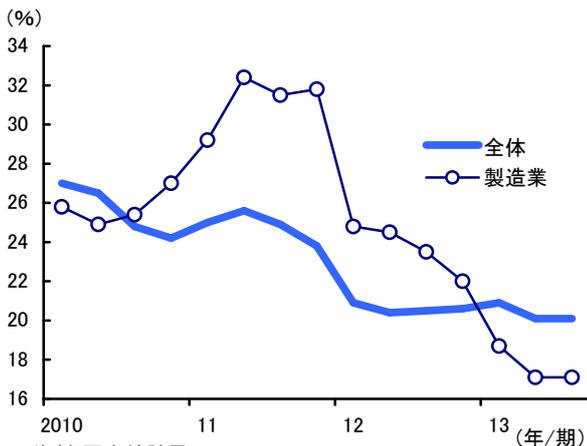


持ち直しに向かう中国製造業の設備投資

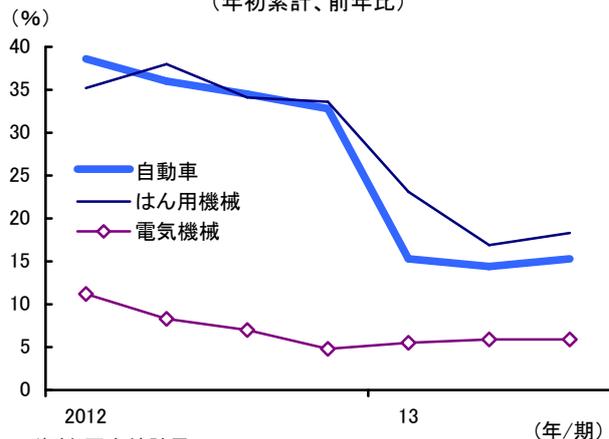
- (1) 中国製造業の2013年1～7月の固定資産投資は前年比17.1%増（1～6月：同17.1%増）と減速に歯止め（図表1）。減速幅が大きかった自動車やはん用機械の投資に持ち直しの兆し（図表2）。
- (2) 主因は、内外需の持ち直し（図表3）。公共投資の拡大に牽引され、4～6月期のトラックと油圧ショベルの販売台数はそれぞれ前年比14.9%、8.9%増とプラス転換。7月の輸出額も前年比プラスに。とりわけ、玩具や衣料品が大幅増加。こうした需要環境の改善に加え、景気失速回避に向け政府の投資抑制スタンスが和らいだ点も指摘可能。
- (3) 今後を展望すると、政府が一定の成長率を維持する方針を明確化させているため、内需拡大策が小規模ながら継続される見込み。また、日米経済の回復に伴い、輸出も持ち直しへ。これらを受け、製造業の設備投資は徐々に増勢が高まる見通し。
- (4) もっとも、設備の稼働水準が依然低い点を踏まえると、製造業の設備投資拡大は、過剰生産能力の問題を一段と深刻化させる恐れ（図表4）。したがって、景気の下限割れリスクが回避されたと判断されれば、当局は再び投資抑制スタンスを強める公算大。

(図表1) 固定資産投資(年初累計、前年比)



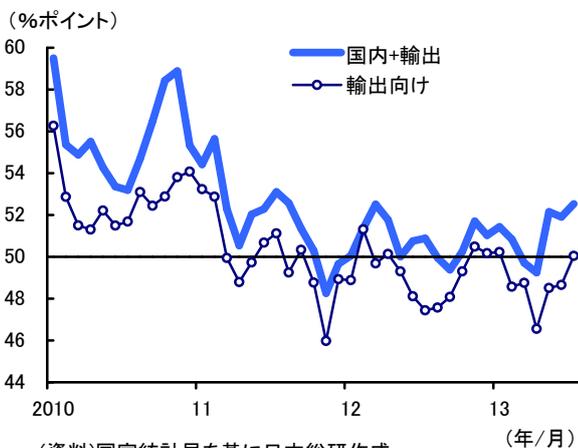
(資料)国家統計局
(注)直近値は2013年1～7月の値。

(図表2) 業種別固定資産投資
(年初累計、前年比)



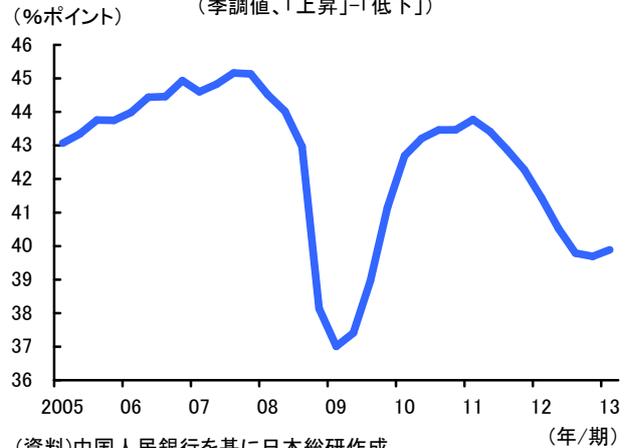
(資料)国家統計局
(注)直近値は2013年1～7月の値。

(図表3) 製造業PMI新規受注指数(季調値)



(資料)国家統計局を基に日本総研作成

(図表4) 設備能力利用水準DI
(季調値、「上昇」-「低下」)



(資料)中国人民銀行を基に日本総研作成